

時間割コード	G2B45501		開講年度	2026				
授業題目	古文書で学ぶ近世ゼミ					担当教員	山本 英二	
英文授業名	Seminar of Edo Period							
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	水曜・3時限		対象学生	全
講義室	共通教育 5 4 講義室			授業形態	演習	遠隔授業科目	備考	
信大コンピテンシー	非該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					【授業の達成目標】		
	大学D P							
	的確に情報を収集し、理解し、発信する力					日本史学に必要な古文書読解力の獲得		
(2)授業で学べる「テーマ」	その他							
(3)全学横断特別教育プログラム	グローバルコア人材養成コース ・ B A S I C (日本理解)							
(4)授業の概要	演習では、信州大学人文学部日本史研究室所蔵の古文書をテキストに、古文書を解読し、個別発表をおこない、みんなで討論します。また、希望に応じて県内の博物館見学や、演習に関係する地域でのフィールドワークもおこなってみたいと思っています。							
(5)授業のキーワード	江戸時代 古文書 レポートのフィードバック							
(6)授業計画	1 ガイダンス 2 古文書の読み方を学ぶ 3 古文書の調べ方を身につける 4 くずし字解読方法を学ぶ 5 古文書を読解する(1) 6 古文書を読解する(2) 7 古文書を読解する(3) 8 古文書を読解する(4) 9 古文書を読解する(5) 10 古文書を読解する(6) 11 古文書を読解する(7) 12 古文書を読解する(8) 13 古文書を読解する(9) 14 古文書を読解する(10) 15 古文書を読解する(11)・授業アンケート							
(7)成績評価の方法	毎回の古文書読解による平常点(90%)小レポート(10%)による総合評価。							
(8)成績評価の基準	古文書についての基礎知識の獲得、古文書解読ツール(辞典)の習熟度。テキストの古文書に対する内容の理解度。 評価は、90～100%解読できれば卓越している。80%解読できればかなり上にある。70%解読できればやや上にある。60%解読できればその水準にあると判断する。							
(9)事前事後学習の内容	事前に配布するテキストの古文書を『くずし字辞典』で予習すること。 事後には随時指示される参考文献により知識の定着・確認をおこなうこと。 この授業は90時間の学修を必要とする内容です。従って、60時間以上の時間外学習が必要となります。							
(10)履修上の注意	無断欠席は一切認めません。必ず予習をして望んでください。積極的に発言してください。受講希望者が多い場合、小テストにより選抜します。高校日本史Bを履修済みであることが条件です。							
(11)質問,相談への対応	オフィスアワー〔水曜12：10～13：00〕 場所：人文学部棟3F・山本研究室							
(12)授業への出席	履修する全ての回に出席することを基本とする。							
(13)授業に出席できない場合の学修の補充	事前配布のテキストによる自習および課題等の提出により対応する。							
【教科書】	『くずし字解読辞典』ISBN(978-4490103311) 児玉幸多監修 東京堂出版 2,420円							
【参考書】	随時指示します。							